

平成30年10月11日

郷土資料館 平成30年度特別展

『近世八王子 文芸の息吹—学問と芸術の世界—』開催

八王子に花開いた文芸の世界へ・・・

江戸時代後期から幕末にかけては、庶民の知的成熟が進み、この発展が明治維新後の近代日本を形づくる土台になったともいわれます。

本展では、八王子の女流歌人松原庵星布の俳句、八王子ゆかりの絵師や書家による作品など、豊かな芸術世界を象徴する作品に加え、江戸時代の子どもたちが学んだ手習塾の様子も展示します。

11月4日（日）午前11時から、学芸員による展示解説も行います。

1 主な展示資料

- ・川口陝山（かわぐち きょうざん）筆・大田南畝（おおた なんぼ）（蜀山人）賛『芦葉達磨図（ろようだるます）』
- ・相沢五流（あいざわ ごりゅう）筆『富嶽遠望図』
- ・松原庵星布（まつばらあん せいふ）短冊
- ・蕉風俳諧番付
- ・袁中郎流挿花図会（えんちゅうろうりゅうそうかづえ）
- ・手習塾の机や往来物 ほか

2 開催場所 郷土資料館（上野町33）1階特別展示室

3 日 時 平成30年10月13日（土）～11月25日（日）9時～17時
※休館日 月曜日・11月6日（火）

4 その他 展示図録を400円で販売



▲「文川画譜」（関文川著）



▲「芦葉達磨図」